

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成28年3月31日(2016.3.31)

【公開番号】特開2016-27711(P2016-27711A)

【公開日】平成28年2月18日(2016.2.18)

【年通号数】公開・登録公報2016-011

【出願番号】特願2015-171374(P2015-171374)

【国際特許分類】

H 04 N 1/00 (2006.01)

G 06 F 3/12 (2006.01)

B 41 J 29/38 (2006.01)

【F I】

H 04 N 1/00 C

G 06 F 3/12 3 7 9

G 06 F 3/12 3 2 0

G 06 F 3/12 3 2 9

B 41 J 29/38 Z

【手続補正書】

【提出日】平成28年2月15日(2016.2.15)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

表示部、印刷部および撮像部を含む複数のハードウェア資源を有し、プリンタ、コピーまたはファクシミリの画像形成処理に係るユーザーサービスをそれぞれ提供する画像形成装置であって、

プリンタアプリケーション、コピーアプリケーション、及びファクシミリアプリケーションを少なくとも含む複数のアプリケーションと、

前記複数のアプリケーションそれぞれからの要求を受信するアプリケーションプログラムインターフェースを有し、該アプリケーションプログラムインターフェースを介して受信した要求に基づいて、前記ハードウェア資源の管理、実行制御、画像形成処理並びにジョブ生成を行うプラットホームと、を有し、

前記プラットホームは、

前記アプリケーションプログラムインターフェースを介して受信した要求に基づいたジョブ生成を行うアプリサービスと、

前記ハードウェア資源の管理、実行制御並びに画像形成処理を行う共通システムサービスであって、前記複数のアプリケーションそれぞれの画面を生成して前記表示部に表示させるオペレーションパネルコントロールサービスを少なくとも含む共通システムサービスと、

を備えたことを特徴とする画像形成装置。

【請求項2】

前記オペレーションパネルコントロールサービスは、前記複数のアプリケーションそれぞれの画面を仮想的に生成すること

を特徴とする請求項1に記載の画像形成装置。

【請求項3】

前記オペレーションパネルコントロールサービスは、仮想的に生成した前記それぞれの画面のうち一の画面を前記表示部に表示させることを特徴とする請求項2に記載の画像形成装置。

**【請求項4】**

前記オペレーションパネルコントロールサービスは、仮想的に生成した前記それぞれの画面のうち複数の画面を合成して前記表示部に表示させることを特徴とする請求項2に記載の画像形成装置。

**【請求項5】**

前記複数のアプリケーションは、アプリケーションごとに追加または削除することができる特徴とする請求項1～4のいずれか一つに記載の画像形成装置。

**【請求項6】**

表示部、印刷部および撮像部を含む複数のハードウェア資源を用いて、プリンタ、コピーまたはファクシミリの画像形成処理に係るユーザーサービスをそれぞれ提供する画像形成装置で実行される画像形成方法であって、

前記画像形成装置は、プリンタアプリケーション、コピーアプリケーション、及びファクシミリアプリケーションを少なくとも含む複数のアプリケーションを有し、

前記複数のアプリケーションそれぞれからの要求を受信するアプリケーションプログラムインターフェースを有するプラットホームによって、該アプリケーションプログラムインターフェースを介して受信した要求に基づいて、前記ハードウェア資源の管理、実行制御、画像形成処理並びにジョブ生成を行い、

前記プラットホームは、

アプリサービスによって、前記アプリケーションプログラムインターフェースを介して受信した要求に基づいたジョブ生成を行い、

前記複数のアプリケーションそれぞれの画面を生成して前記表示部に表示させるオペレーションパネルコントロールサービスを少なくとも含む共通システムサービスによって、前記ハードウェア資源の管理、実行制御並びに画像形成処理を行う

ことを特徴とする画像形成方法。

**【請求項7】**

表示部、印刷部および撮像部を含む複数のハードウェア資源を有し、プリンタ、コピーまたはファクシミリの画像形成処理に係るユーザーサービスをそれぞれ提供し、プリンタアプリケーション、コピーアプリケーション、及びファクシミリアプリケーションを少なくとも含む複数のアプリケーションを有するコンピュータに、

前記複数のアプリケーションそれぞれからの要求を受信するアプリケーションプログラムインターフェースを有するプラットホームによって、該アプリケーションプログラムインターフェースを介して受信した要求に基づいて、前記ハードウェア資源の管理、実行制御、画像形成処理並びにジョブ生成を行い、

前記プラットホームは、

アプリサービスによって、前記アプリケーションプログラムインターフェースを介して受信した要求に基づいたジョブ生成を行い、

前記複数のアプリケーションそれぞれの画面を生成して前記表示部に表示させるオペレーションパネルコントロールサービスを少なくとも含む共通システムサービスによって、前記ハードウェア資源の管理、実行制御並びに画像形成処理を行う

ことを実行させるためのプログラム。

**【手続補正2】**

**【補正対象書類名】**明細書

**【補正対象項目名】**0012

**【補正方法】**変更

**【補正の内容】**

**【0012】**

上述した課題を解決し、目的を達成するため、請求項1の発明に係る画像形成装置は、

表示部、印刷部および撮像部を含む複数のハードウェア資源を有し、プリント、コピーまたはファクシミリの画像形成処理に係るユーザーサービスをそれぞれ提供する画像形成装置であって、プリントアプリケーション、コピーアプリケーション、及びファクシミリアプリケーションを少なくとも含む複数のアプリケーションと、前記複数のアプリケーションそれぞれからの要求を受信するアプリケーションプログラムインターフェースを有し、該アプリケーションプログラムインターフェースを介して受信した要求に基づいて、前記ハードウェア資源の管理、実行制御、画像形成処理並びにジョブ生成を行うプラットホームと、を有し、前記プラットホームは、前記アプリケーションプログラムインターフェースを介して受信した要求に基づいたジョブ生成を行うアプリサービスと、前記ハードウェア資源の管理、実行制御並びに画像形成処理を行う共通システムサービスであって、前記複数のアプリケーションそれぞれの画面を生成して前記表示部に表示させるオペレーションパネルコントロールサービスを少なくとも含む共通システムサービスと、を備えたことを特徴とする。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

この請求項1の発明によれば、各ユーザーサービスのアプリケーションを作成する場合には、画面表示制御やキー操作部分を作成すれば足りる。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0020

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正11】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0021

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正12】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0022

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正13】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0023

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正14】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0024

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正15】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0025

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正16】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0026

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正17】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0027

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正18】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0028

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正19】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0029

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正20】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0030

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正21】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0031

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正22】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0032

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正23】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0033

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正24】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0034

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正25】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0035

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正26】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0036

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正27】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0037

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正28】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0038

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0038】

請求項1の発明によれば、各ユーザーサービスのアプリケーションを作成する場合には、画面表示制御やキー操作部分を作成すれば足りる。

【手続補正29】

【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0039  
【補正方法】削除  
【補正の内容】  
【手続補正30】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0040  
【補正方法】削除  
【補正の内容】  
【手続補正31】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0041  
【補正方法】削除  
【補正の内容】  
【手続補正32】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0042  
【補正方法】削除  
【補正の内容】  
【手続補正33】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0043  
【補正方法】削除  
【補正の内容】  
【手続補正34】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0044  
【補正方法】削除  
【補正の内容】  
【手続補正35】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0045  
【補正方法】削除  
【補正の内容】  
【手続補正36】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0046  
【補正方法】削除  
【補正の内容】  
【手続補正37】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0047  
【補正方法】削除  
【補正の内容】  
【手続補正38】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0048  
【補正方法】削除  
【補正の内容】  
【手続補正39】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0049

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正40】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0050

【補正方法】削除

【補正の内容】